

【No. 1】日本における小売業態に関する次の記述のうち、最も成立が古いものはどれか。

1. ファストフード
2. スーパーマーケット
3. コンビニエンスストア
4. ファミリーレストラン

答. 2

---

【No. 2】戦後、日本企業の百貨店として初の海外出店を果たした次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 高島屋（ニューヨーク）
2. 三越（パリ）
3. 大丸（タイ）
4. 西武百貨店（ロサンゼルス）

答. 1

---

【No. 3】日本における物流サービスの歴史に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 大和運輸(株)が日本初の小口貨物の翌日配達サービスを1976年(昭和51年)に開始した
2. 個人向け小口輸送サービスは、民間企業の参入まで、日本郵便と国鉄が担っていた
3. 1987年には、外資の物流企業と業務提携し、小口の国際宅配が可能になった
4. 郵政民営化は2005年(平成17年)である

答. 4

---

**【No. 4】**大正～昭和初期までの間の商業上の出来事に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 1914(大正 3)年、三越はエスカレーターのある鉄筋 5 階建ての近代的な百貨店を完成させた
2. 内国勸業博覧会の出品商品を販売する施設として誕生した「勸工場」は人気を博し、太平洋戦争終戦まで存続した
3. 大衆化した百貨店と中小小売業者との対立が激化したため、1937(昭和 12)年に「百貨店法」が成立された
4. 都市化が進み、都市にあふれた窮民層を救済するため、1918(大正 7)年に大阪市に「公設市場」が設営された

答. 2

---

**【No. 5】**「まちづくり三法」のうち、改正都市計画法では郊外への都市機能の拡散を抑制する目的で、床面積 10,000 m<sup>2</sup>を超える大規模集客施設の立地が可能となる用途地域の見直しが行われた。

次の記述のうち、上記の場合の施設の面積を規定する、**最も適当なものはどれか。**

1. 売場面積
2. 店舗面積
3. 営業面積
4. 延床面積

答. 4

---

**【No. 6】**「消費税転嫁対策特別措置法」の失効により、2021年4月1日から商品・サービスの価格表示が原則として消費税込みの総額表示が義務化された。

次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**(本体価格が900円の場合とする。)

1. 900円 (税込990円)
2. 990円 (消費税込)
3. 990円
4. 900円 (消費税別、10%)

答. 4

---

**【No. 7】** マーケティング・マネジメントに関する次の用語の組み合わせのうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. マーケティング・ミックス . . . . . 広告手段の組み合わせ
2. セールス・プロモーション . . . . . 営業担当者による販売促進活動
3. マーケティング・マネジメント . . . . . 製品の販売経路
4. テレ・マーケティング . . . . . 情報通信技術を利用した販売業務

答. 3

---

**【No. 8】** 小売業の商圈の地理的範囲に関する経験的法則は、米国の研究者らにより公式として発表されて来た。  
発表された順に並べた次の記述のうち、**最も適当なものはどれか。**

- A : 小売引力の法則・第1公式 / ライリーの法則  
B : 買い物確率の公式 / ハフ・モデル  
C : 小売商圈分岐点公式 / コンバースの法則

1. A — B — C
2. A — C — B
3. B — C — A
4. C — A — B

答. 2

【No. 9】 公共施設にあるエレベーター内に鏡を設置する要件に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. エレベーター内を広く見せるために
2. 閉所恐怖所の人のために
3. 障害者のために
4. エレベーター内を明るくするために

答. 3

【No.10】 言語と識字の壁を克服する手段として、「危険」「守るべき安全行動または安全装備」「禁止される不安全行動、道具」「安全」などを示すためのシンボルが、1990年代にISOセーフティシンボルとして安全標識に導入された。

各ISOセーフティシンボルの意味に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。



1. ①禁止、②警告、③安全、④必須
2. ①警告、②禁止、③安全、④必須
3. ①必須、②警告、③禁止、④安全
4. ①安全、②必須、③警告、④禁止

答. 1

【No.11】 次の文章の、 に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『世界的に大型商業施設の閉鎖など業態変化が進んでいるが、これから先のライフスタイルの多様性に合わせた新サービスが商業施設に求められている。価格やプロモーションだけでは集客することが困難となってきた。価格以上の  が重要な課題となる。』

1. サービスの向上
2. 価値の提供
3. 魅力的な商品
4. 商品説明

答. 2

-----

【No.12】 電子商取引（E C）市場に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 中国が日本から購入する越境E C市場は減少する傾向にある
2. 越境E C市場は 70 兆円規模になり中国は 7000 万人を超える人が利用している
3. 国内E C市場においてスマートフォン経由の売上が上昇している
4. 国際E C市場において中国はアメリカを抜いて 1 位になった

答. 1

-----

【No.13】 コンビニエンスストアの動向に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. キャッシュレス導入
2. 無線 I C タグの導入
3. 来店客のパーソナルデータの取得

4. 営業時間の見直し

答. 3

---

【No.14】 次の文章の、 に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『現在導入が進み始めている次世代ネットワーク技術は、家庭や公共交通・商業施設をオンラインで結び、 機器の導入によりリアルタイムに情報を共有するビッグデータを活用することで、需要と供給を的確に把握することができる。』

1. I o T
2. I C T
3. 電子通貨
4. インターネット

答. 1

---

【No.15】 流通業界において近年も企業間の業務提携や再編が活発傾向にあるが、企業関係に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 楽天グループと日本郵政の資本業務提携
2. ニトリHDによる島忠の買収
3. アマゾンジャパンとサミットの業務提携
4. マツモトキヨシHDとココカラファインの経営統合合意

答. 3